

# つばた

議会だより

No.126

2013. 7. 5



**定住人口増加促進策を示せ** 2P

**クロスアップ** 電気自動車を購入など 4P

**委員会審議** 下水道への接続を加速させよ 5P

**いっぼん質問** クマの出没対策はなど 12人が登壇 9P

**あの質問のゆくえ** 投票所入場券に期日前投票宣誓書を 8P

さあ、一緒に  
(萩坂保育園)

思いはひとつ

# 定住人口増加

# 促進策を示せ 6人が一般質問

## 9月会議までに 助成制度を予算計上



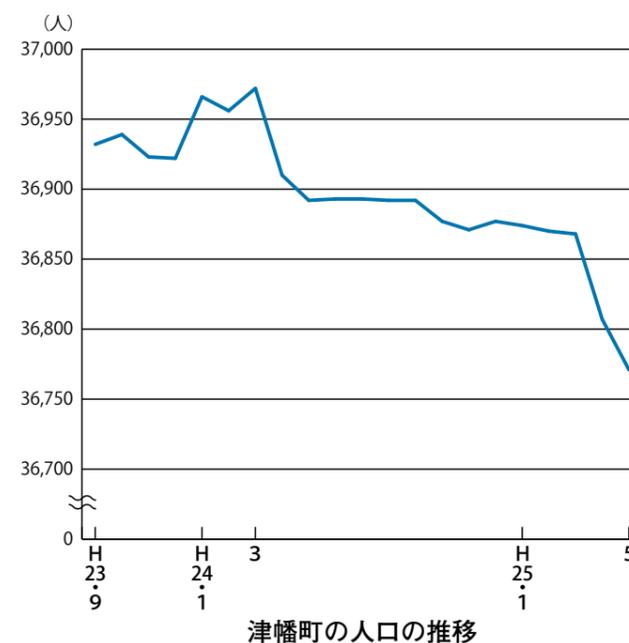
▲もっとおいでよ、津幡町へ

### 新・委員会委員

- ◆**総務常任委員会**  
委員長 森山 時夫  
副委員長 荒井 克  
委員 向 正則
- ◆**産業建設常任委員会**  
委員長 酒井 義光  
副委員長 八十嶋孝司  
委員 西村 稔
- ◆**文教福祉常任委員会**  
委員長 角井外喜雄  
副委員長 黒田 英世  
委員 塩谷 道子
- ◆**大河ドラマ誘致推進特別委員会**  
委員長 南田 孝是  
副委員長 向 正則
- ◆**県森林公園活性化対策特別委員会**  
委員長 谷下 紀義  
副委員長 河上 孝夫
- ◆**議会運営委員会**  
委員長 谷口 正一  
副委員長 洲崎 正昭  
委員 山崎 太市
- ◆**広報調査特別委員会**  
委員長 黒田 英世  
副委員長 酒井 義光  
委員 八十嶋孝司
- ◆**監査委員(議会選任)**  
委員長 谷口 正一  
副委員長 洲崎 正昭
- ◆**都市広域事務組合議会議員**  
委員 河上 孝夫
- ◆**産業建設常任委員会**  
委員長 酒井 義光  
副委員長 八十嶋孝司  
委員 西村 稔
- ◆**文教福祉常任委員会**  
委員長 角井外喜雄  
副委員長 黒田 英世  
委員 塩谷 道子
- ◆**大河ドラマ誘致推進特別委員会**  
委員長 南田 孝是  
副委員長 向 正則
- ◆**県森林公園活性化対策特別委員会**  
委員長 谷下 紀義  
副委員長 河上 孝夫
- ◆**議会運営委員会**  
委員長 谷口 正一  
副委員長 洲崎 正昭  
委員 山崎 太市
- ◆**広報調査特別委員会**  
委員長 黒田 英世  
副委員長 酒井 義光  
委員 八十嶋孝司
- ◆**監査委員(議会選任)**  
委員長 谷口 正一  
副委員長 洲崎 正昭
- ◆**都市広域事務組合議会議員**  
委員 河上 孝夫
- ◆**総務常任委員会**  
委員長 森山 時夫  
副委員長 荒井 克  
委員 向 正則
- ◆**産業建設常任委員会**  
委員長 酒井 義光  
副委員長 八十嶋孝司  
委員 西村 稔
- ◆**文教福祉常任委員会**  
委員長 角井外喜雄  
副委員長 黒田 英世  
委員 塩谷 道子
- ◆**大河ドラマ誘致推進特別委員会**  
委員長 南田 孝是  
副委員長 向 正則
- ◆**県森林公園活性化対策特別委員会**  
委員長 谷下 紀義  
副委員長 河上 孝夫

津幡町の推計人口(各月1日現在) (単位:人)

平成25年	総人口	前月比	前年同月比
1月	36,874	△ 3	△ 92
2月	36,870	△ 4	△ 86
3月	36,868	△ 2	△ 104
4月	36,807	△ 61	△ 103
5月	36,771	△ 36	△ 121



6月会議を4日から12日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・特別会計補正予算、条例改正の3件の議案が提出され、引き続き町政全般について12人が一般質問を行った。12日に監査委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦について同意した。また、任期満了に伴い常任委員会などの組織替えを行った。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願1件を採択、2件を不採択とし、意見書2件を可決した。

平成25年5月1日現在の推計人口は3万6771人であり、24年3月の3万6972人をピークに減少している。近隣市町ではすでに定住促進策を行っており、実績を上げている。当町でも具体的な施策を行うよう、6人の議員が質問した。矢田町長は町の健全な財政を維持しつつ、現在、町に住んでいる方も、今後、新たに町民として定住する方も大切にできるような、先進自治体の制度を調査研究し、町独自の助成制度を9月会議までに予算計上できるように、早急に準備を進めると答弁した。

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

**総務**（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）  
◎酒井義光◎荒井 克 黒田英世 塩谷道子 南田孝是 河上孝夫

**文教福祉**（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）  
◎多賀吉一◎山崎太市 八十嶋孝司 中村一子 向 正則 谷下紀義

**産業建設**（土木・農林・労働・商工・上下水道）  
◎角井外喜雄◎森山時夫 西村 稔 道下政博 谷口正一 洲崎正昭  
（◎委員長 ○副委員長）

# 委員会 審議

一般会計補正予算  
**2億2990万円を可決**  
（全員賛成）  
一般会計総額123億9590万円に

こんなことに使われます  
**クローズアップ**

6月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。



◀来庁者に優しく

## 役場庁舎内・駐車場などを整備

-監理課-

**Q** 庁舎内の改修は、トイレ4か所を和式から洋式に改修し、手すりなどを整備する。

**A** また、給湯設備をIH化し、安全と環境に配慮する。

**Q** 駐車場の整備内容は、庁舎北口玄関横におも

**A** いやり優先駐車スペースの設置および駐輪場を整備する。



▲子どもは未来の宝

## 産業建設

### 下水道への接続を加速させよ

-上下水道課-

**Q** 下水道の接続率は、町全体では86・6%である。地域で差があり、一部地区では60%台のところもある。

**A** 広報などで呼びかけるとともに、地元区長と連携をとりながら接続促進を図りたい。

**Q** 環境整備向上へ、早期接続の対策は、

**A** 広報などで呼びかけるとともに、地元区長と連携をとりながら接続促進を図りたい。



▲早期の切り替えを

## 文教福祉

### 子ども・子育て支援法に伴うニーズ調査を実施

-町民児童課-

**Q** 調査の目的・内容は、国から示される予定の調査票案を参考に、子育て世帯の保育や就労状況などを調査し、町にどのような整備が必要かを検討する。

**A** 今後のスケジュールは、平成25年度にニーズ調査を実施し、集計、分析を行い、これを基に26年度に事業計画を確定する。

### 電気自動車を購入

400万円

公用車として電気自動車を導入し、町民の環境保全に対する意識を促す。石川工業高等専門学校との連携事業の一環として、車両のラッピングデザインを依頼する。  
**Q** 充電するための電気代はいくらかかるのか。  
**A** 満タンにするのに400円かかる。

### 津幡南中学校のテニスコートを改修

3491万円

経年劣化で凹凸が激しく、部活動に支障が出ている。施設の耐久性と安全性向上などを考慮し、砂入り人工芝コートに改修する。



▲整備されるテニスコート

### 中条公園に防犯カメラを設置

160万円



▲放火された遊具

公園施設や遊具、トイレなどがいたずらにより壊されるため、防犯カメラを2基設置する。  
**Q** 録画データの解像度は。  
**A** 顔が判明できるレベルである。

### 3保育園を改修

2252万円

老朽化が著しい3保育園を改修する。  
**Q** 具体的な改修箇所は。  
**A** 中条東保育園は屋上防水、中条南保育園は床、太白台保育園は外壁などをそれぞれ改修する。

## 人事

### 選任された委員

監査委員

長田 貢氏

(太田) 再任

公平委員会委員

前田 進氏

(津幡) 新任

固定資産評価審査委員会委員

田川 俊範氏

(北中条) 新任

人権擁護委員

田中 郁子氏

(刘安) 新任

(以上、全員賛成)

# 件を審査

## 採択

### TPP交渉に関する意見書の提出を求める

◎請願者

石川かほく農業協同組合

代表理事組合長 井上 信一

紹介議員 酒井 義光

(賛成15人・反対2人)

主旨 TPPが国民生活の根本に関わる重大な問題であることとを踏まえ、交渉において国益が守れないと判断した場合は、断固としてTPP交渉から離脱すること。



▲農業の未来は

採択された1件の請願は  
意見書を内閣総理大臣ほか  
関係機関に送付しました

### 河北中央病院に関わる意見書を国に提出 文教福祉常任委員会発議で

#### 不採算地区病院の適用要件の改正に伴う 特別交付税の見直しに関する意見書

平成20年12月に「公立病院に関する財政措置の改正要綱」が示され、とりわけ過疎地に関する財政措置の充実が盛り込まれた。

その中に不採算地区病院の1病床当たりの特別交付税措置額が増額となり、地域の病院経営に配慮された内容となっているが、一方では、地域要件として「直近の一般病院まで移動距離が15キロメートル以上となる位置に所在すること」や「直近の国勢調査における人口集中地区以外の区域に所在すること」の要件が新設されたことにより、今まで特別交付税措置の対象となっていた病院が対象外となった。その対象外となる病院の経営への影響を考慮し、平成21年12月の特別交付税に関する省令の改正において激変緩和措置が講じられているが、その激変緩和措置が平成25年度で終了となる。

当町の津幡町国民健康保険直営河北中央病院は、地域要件の改正前までは特別交付税措置の対象となっていたが、新設された地域要件により特別交付税措置の対象外となり、この激変緩和措置が適用されている。

津幡町国民健康保険直営河北中央病院は地域にとっては中核となる病院で、地域住民の命と安心を守るためになくならない病院であることはもとより、日ごろから最大限の経営改善に努めているが、この激変緩和措置の終了は病院経営にはかり知れない影響を与えることとなる。

よって、政府におかれては、不採算地区病院の適用要件の改正に伴う特別交付税について、次の措置が講じられるよう強く要望する。

記

1 不採算地区病院の適用要件の改正に伴う特別交付税措置について、病院経営への影響を考慮し、特別交付税措置の地域要件を見直すこと。  
(全員賛成)

# 請願3

みなさまからの

## 不採択となった請願

### ・TPPへの参加に反対する

◎請願者 農民運動石川県連合会

会長

宮岸

美則

紹介議員

塩谷

道子

(賛成1人・反対16人)

主旨 TPPに参加しても経済効果は少ない。国民に情報の開示、合意もないうまま拙速に参加することは容認できない。

### ・米軍新型輸送機オスプレイの配備撤回と 低空飛行訓練の中止を求める

◎請願者 石川県平和委員会

代表

納口

清隆

紹介議員

塩谷

道子

(賛成3人・反対14人)

主旨 日米政府は、沖縄県民の総意を無視し、普天間基地にオスプレイを配備して、市街地上空での危険飛行を連日行っている。今後予定されている全国の米軍、自衛隊などの施設を利用した低空飛行訓練の中止を求める。

## 賛成

TPP交渉では、政府が公約した6項目を順守することが求められるが、日米事前交渉では、日本の要求は無視され、交渉から離脱することも難しいと思われる。参加しないことこそ国益を守る唯一の道である。

塩谷 道子議員

## 反対

TPP参加交渉に入る以前に参加を反対するのは不可解である。政府は、国益が守られない場合は離脱することを表明している。

角井外喜雄議員

## 賛成

オスプレイ配備撤回と低空飛行訓練中止の要求は、沖縄県民の総意である。世界一危険な普天間基地に配備することは、日本国憲法よりも安保条約を上に置く考えであり、認められない。

塩谷 道子議員

## 反対

冷戦後の国際社会の平和と安全のため、日米安保保障体制は必要不可欠である。安保条約では、日本国内の米軍基地、空域の使用を認めており、外交、防衛などは政府の専権事項であると考える。

荒井 克議員

# ズバリ 町政を問う 12人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答方式で行われます。

- 1 酒井 義光 議員……………10
  - ・クマの出没対策は
  - ・森林公園周辺のイノシシ対策を
- 2 多賀 吉一 議員……………11
  - ・早急に定住人口拡大対策を
  - ・危険な場所でのボランティア草刈りの見直しを
- 3 西村 稔 議員……………12
  - ・ボートピアへの交通アクセスと安全対策を示せ
  - ・まちづくり提案
- 4 八十嶋孝司 議員……………13
  - ・避難所としての公民館機能充実を
  - ・買い物弱者へ町として支援を
- 5 角井外喜雄 議員……………14
  - ・TPP交渉参加に伴う町の農業対策は
  - ・防犯カメラ付き自動販売機の導入を
- 6 道下 政博 議員……………15
  - ・介護慰労金支給制度の復活と改善を
  - ・ピロリ菌の検査に無料クーポン券の発行を
- 7 森山 時夫 議員……………16
  - ・中山間地の過疎化対策を
  - ・学童保育施設を少人数校にも開設せよ
- 8 荒井 克 議員……………17
  - ・定住促進制度に取り組み
  - ・食べ歩きマップの作成を
- 9 黒田 英世 議員……………18
  - ・定住人口増加策の強化を図れ
  - ・倶利伽羅駅と津幡駅の間に新駅を
- 10 河上 孝夫 議員……………19
  - ・温水プールの今後の予定を示せ
  - ・救急搬送における医療機関の受け入れ状況は
- 11 塩谷 道子 議員……………20
  - ・国民健康保険税額を引き下げよ
  - ・子ども医療費の無料化を求め
- 12 中村 一子 議員……………21
  - ・子宮頸がんワクチン接種の副作用などの情報提供を
  - ・町道庄能瀬線の建設工事の打ち切りを

## 追跡 あの質問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。



▲設置された海拔表示

**投票所入場券に  
宣誓書の記載を**  
平成23年3月議会 道下政博議員

選挙投票日当日、投票所に行けないときは期日前投票ができる。  
受付の際、宣誓書に理由を記載する必要があるが、手が震えて大変だったとの声も聞く。  
投票所入場券裏面に宣誓書欄を設け、事前に記入できるよう改善せよ。

### 答 弁

**海拔表示を町内に設置せよ**  
平成24年3月議会 酒井義光議員

津波被害を想定して、全国的に道路や主要な場所に海拔表示板の設置に取り組んでいる。日常から海拔を知ること防災意識も高まり、注意を喚起すると同時に避難にも生かせる。災害に備え設置せよ。

### 答 弁

**今後検討する**

現在、町内の公共施設の標高調査を行っている。海拔表示は津波浸水に対し有効であり、県の震災対策部会の津波被害の想定も踏まえ検討する。

### その後

**海拔表示シートを設置**

本年5月に、町内の指定避難場所や公共施設に海拔表示シートを設置した。設置場所の足元の高さを示している。

**統一地方選挙後から導入**

県内では輪島市、能美市、穴水町が導入している。  
必要な事項を事前に記入できれば、期日前投票所での負担や経費が軽減される。  
平成23年4月実施の統一地方選挙の次に行われる選挙から導入したい。

### その後

**衆議院議員総選挙から導入**

平成24年12月執行の衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査から導入した。事前に記入している方が多く、スムーズに受付をすることができた。

**議会を傍聴しましょう**

◎町政一般質問は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。  
お問い合わせは、  
議会事務局 (Tel.288-6410)



酒井 義光 議員

## クマの出没対策は

積極的に取り組んでいる

### クマ対策

酒井 議員

5月9日に緑が丘交差点付近でクマが目撃され、新聞などで大きく報道された。  
住宅地に出没しないよう里山整備が急務と考えるが、町はどのように取り組んでいるか。  
パトロールだけではなく、他市町のようにおりに設置するなど、具体的に駆除対策を実施せよ。

竹本 産業建設部長

クマの目撃情報はメール配信サービスで知らせている。目撃者と町職員、猟友会が現場を検証し、防災無線などで周辺住民に注意を喚起している。  
里山整備については、有効かつ有利な財源を活用し積極的に取り組んでいる。  
個体数調整捕獲許可を受け、おりの設置など駆除対策を進めている。



## イノシシ対策

森林公園周辺の対策を

電気柵の設置を進めていく

酒井 議員

森林公園周辺の田畑ではイノシシによりあぜ道などが壊され、農作物が荒らされる被害が年々多くなっている。  
しかし、森林公園は鳥獣保護区となっており、イノシシによりあぜ道が増え続けている。  
イノシシのみ狩猟できる特別休猟区にするよう県に働きかけよ。

梶田 農林振興課長

保護区であってもイノシシに限り捕獲許可を取れば、おりの捕獲は可能で、現在も取り組んでいる。  
銃の使用は来園者や地域住民に危険が及ぶ恐れもあり、困難である。  
特に被害の多い地区には電気柵の設置やおりの増設を進めていく。



▲1頭でも多くの捕獲を

### その他の質問

Q 下水道への接続を加速させよ。  
A 3年間で接続率90%を目標に取り組みしていく。

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



多賀 吉一 議員

## 定住人口

早急に拡大策を

9月会議までに

予算計上したい

多賀 議員

町の人口は平成24年3月をピークに減少に転じた。  
他自治体では人口の減少に歯止めをかけるべく、さまざまな定住人口拡大策を打ち出し、実績を上げていく。人口の減少は税収の減に加え、町の活性化を阻害する。  
喫緊の課題として捉え、住宅取得助成制度を創設するなど、早急に定住人口拡大策を図れ。

矢田 町長

町の人口はわずかながら減少している。人口の増加や若い世代が増えることは町の活性化につながり、早急に取り組みたい。  
一時的な補助や税控除などではなく持続可能な制度を創設し、9月会議に予算計上すべく取り組んでいく。

## 美化大作戦

## 危険な場所での草刈りの見直しを

専門業者への委託を検討する

多賀 議員

毎年2回のまちづくり美化大作戦で公共の場所や側溝の清掃をボランティアで行ってきたが、高いところやこう配が急な箇所での草刈り作業は危険である。  
ボランティアにお願する場所と業者に委託する場所を調査、区分し、住民の安全を図れ。

太田 監理課長

町有地の緑地やのり面の草刈りをボランティアでお願いしているが、危険が伴う箇所については当該地区の区長とも協議し、専門業者への委託を検討する。



▲安全第一!!



西村 稔 議員

### ボートピア

#### 交通アクセスと 安全対策を示せ

#### できる限りの 対応をする

西村議員

長総務部長

6月10日にミニボートピア津幡が開業するが、富山方面から来て会場に向かう車に対する交通アクセスとその安全対策を示せ。

来場者の安全対策は、施行者であるみどり市と津幡警察署や国土交通省と協議の上、練られていく。施設の開業に伴うさまざまな問題の解決は、基本的には施行者と施設運営会社が責任を持って対応すべきものであるが、町としてもできる限りの対応はしていく。

# いっばん質問

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



八十嶋孝司 議員

### 公民館

#### 避難所としての 機能充実を 運営訓練などで充実を図る

八十嶋議員

災害時の公民館は避難所として重要であるが、まだ機能は十分とは言えない。備品の確保、食糧、飲料水の備蓄など、不測の事態に備えた体制づくりが必要である。今後の整備計画を問う。



▲避難所となる公民館



▲オープンしたミニボートピア

矢田町長

平成24年度は各公民館に防災行政無線の半固定局を整備した。公民館での食糧、飲料水の備蓄は賞味期限管理や災害時の配分などの問題もあり、町の備蓄倉庫で一括管理する。また、町防災総合訓練で、町職員が避難所の設置訓練を行った。各地区自主防災クラブ員には避難所でのルール、健康相談などを体験してもらった。

### 都市計画

#### まちづくり提案

#### 住んでよかったと 実感できる町を目指す

西村議員

津幡市政に向け、優良宅地と企業誘致のための用地の整備を図るなど、総合的な都市計画を立案せよ。また、津幡丘陵公園地に大型観覧車の設置を検討し、幸せがあり喜びがあり楽しみがあるまちづくりを目指せ。



▲スッキリした街並み（井上の荘）

### 買い物弱者

#### 町として支援を

#### 宅配サービスの紹介や 利用を促し、支援

八十嶋議員

大型店舗の郊外進出により、車の運転が困難な高齢者や身体に障害を持つ方などが買い物に行けず、社会問題となっている。

当町においても、切実な課題ではないか。今後さらに高齢化が進むことから、町としてサポート体制の強化、支援策を示せ。

板坂町民福祉部長

現在、買い物弱者への対応として、ボランティア等による活動や農協、生協、スーパーマーケットなどで実施している宅配サービスの紹介や利用を促すなどの支援を行っている。

4月には、商工会主体の買い物弱者支援事業実行委員会が発足し、平成25年度中に買い物弱者の救済と商店街の活性化につなげる取り組みを試行する予定となっている。

矢田町長

企業誘致のための用地についてはオーダーメイド方式による従来の方針のもと積極的に取り組んでいる。現在はあがた公園の整備を優先しており、津幡丘陵公園については財政状況と有利な財源の活用を見極め、計画的に実施していく。住んでよかったと実感できるまちづくりを目指している。

その他の質問

Q 女性の管理職を増やせ。

A 意欲・能力のある職員の登用に努める。

Q 保育園の耐震対策を。 A 法律上、耐震対策の必要はないが、改修工事行っていく。

その他の質問

Q ゆるキャラをデザインしたエコバッグで大河ドラマの推進を。

A サイズや安全面も考慮に入れ、製作を検討したい。



角井外喜雄 議員

# T P P

## 町の農業対策は

### 農業者の営農方針を 把握し支援

TPPに参加した場合、コメをはじめとする安価な輸入農産物が増加し、農業の衰退は避けられない状況となる。  
農林水産省は2月に日本の農業競争力強化を図るため、人・農地プランを集中的に強化すると発表した。

プランのまとめ役は市町村となっているが、町の農地集積計画を今後どのように進めていくか。

角井議員

# いっばん質問

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



道下政博 議員

## 介 護

### 慰労金支給制度の 復活と改善を

#### 別の事業で対応している



矢田町長

県内には、中能登町や川北町など介護慰労金支給制度に取り組んでいる自治体がある。  
当町でも支給制度はあったが、平成15年に廃止となった。  
重度の要介護者を在宅で介護している家族の応援のため、利用しやすい制度へ改善し、制度復活を要望する。

綱に基づき取り組んでいたが、当町では支給対象者がなく、事業を終了した。  
現在は、家族介護継続支援特別事業として、要件を満たす在宅サービス利用者には、4万円分のおむつ等の介護用品を購入できる利用券を発行している。24年度は138人に400万円を助成した。  
今後は利用券の金額拡大を検討したい。

## 自動販売機

### 防犯カメラ付きの 機器導入を

#### 設置業者公募の際に検討

角井議員

本年度、駐輪場を含め津幡駅前整備が予算化された。自転車の盗難防止や防犯対策の一環として、公募による防犯カメラ付き自動販売機を設置せよ。  
さらに、既存の自動販売機にも防犯カメラの後付けができることから、公園や公共施設にも事業者負担で設置できないか。

長総務部長

津幡駅では自転車の盗難が平成24年に63件発生し、公園ではトイレや遊具などへのいたずらも多く、防犯カメラの設置を計画している。  
防犯カメラ付き自動販売機の設置は、今後の自動販売機設置の公募の際に検討したい。



▲街角の見張り役に

## がん対策

### ピロリ菌の検査に 無料クーポン券を 今後検討する

道下議員

胃がんを発症させる可能性があるピロリ菌が原因の慢性胃炎の除菌治療に、平成25年2月から保険が適用となった。  
胃がん死を大幅に抑制するには、ペプシノゲン

矢田町長

ピロリ菌検査無料クーポン券の発行は、町医師会や関係機関からの意見を聞き、対象者や自己負担などを含め、今後検討したい。  
ピロリ菌外来の開設は、町の胃がん検診で、ピロリ菌検査の導入が決定した段階で検討する。



▲ピロリ菌外来を（河北中央病院）

## その他の質問

- Q 県内周辺市町より定住促進策が遅れている。
- A 早急に取り組む。
- Q 津幡駅前整備の際、駐輪場から車道を横断せずに利用できるようにせよ。
- A 横断者数、通行車両数が少ないため、困難である。



森山時夫 議員

### 過疎化

#### 中山間地の

#### 過疎化対策を

格差が縮まるよう  
取り組んでいる

森山議員

当町は金沢市近郊のベッドタウンとして、街中では大規模な宅地造成が進んでいるが、中山間地は過疎化が進み、生活環境の格差が現れ、廃集落になることが懸念される。

中山間地の定住促進計画の策定を急ぎ、緑豊かな里山を守れ。

矢田町長



▲緑豊かな里山

町として中山間地の過疎化を見逃さずしてきたわけではない。町道の整備、津幡北バイパスの全線開通、ケーブルテレビ網の整備、スクールバスの運行、町独自の教員の配置などにより、生活水準では市街地と差がないところまで来たと考えている。今後、中山間地での暮らしのよさも感じられるよう、ソフト面の施策についても検討していく。

### 学童保育

森山議員



▲放課後も安心して

過疎化が進む地域では、児童の減少は大きな課題となっている。

少人数校となっている小学校には、学童保育施設がないため校区外に通学する児童もあり、さらに児童数が減少する。少人数校であっても、学童保育施設を開設できないか。

矢田町長  
地区からの要望があり、入所児童数が5人以上見込めれば指導員の確保、場所など、地元と協議したい。

複数校での開設は学童保育施設と学校、家庭の距離を考えると安全の確保に問題があり、十分な協議が必要と考える。

### 少人数校にも開設せよ

要望があれば検討

#### その他の質問

Q 当町を震源とする地震が発生した。これを機に防災無線を活用した訓練をせよ。  
A 防災総合訓練や、地域での防災訓練にも活用したい。

# いっばん質問

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



荒井 克 議員

### 定住人口

荒井議員

#### 定住促進制度に 取り組み

積極的に取り組む



▲建設中の工場（旭山工業団地）

平成16年に20年後を想定した都市計画マスタープランが策定された。中間となる27年の推計人口は4万1900人となっているが、現在の状況では大きく下回ることが予想される。早急に定住促進を図り、人口流出を防ぐ上でも魅力ある定住促進助成制度を創設せよ。さらに企業誘致に力を入れ、地元雇用を創出せよ。

矢田町長

マスタープランの見直しにあわせて、当町への進出企業や既存企業の増設時に町民を正規雇用した場合の雇用奨励金や、結婚を機に転入、転居する新婚夫婦を歓迎、祝福する結婚祝金制度などの創設を検討したい。

### 光 観

荒井議員

#### 食べ歩きマップの 作成を

改訂時に取り入れたい

北陸新幹線の開業に伴い、当町にも多くの観光客が訪れることが予想される。

町はいくつかのガイドマップを作成しているが、

食べ歩きの情報がない。

来町者にとって分かりやすいマップを作成せよ。

また、源平合戦にまつわる名所旧跡の案内看板を充実、整備せよ。

#### 竹本 産業建設部長

多くの観光客を呼び込むには、具体的な宿泊先や飲食店が記載されているマップのほうが親切と思われる。

既存のガイドマップ改訂時に商工会など関係団体の協力を求め、内容の充実を図る。

大河ドラマ誘致推進の面からも、源平合戦にまつわる名所旧跡などの紹介も積極的に取り入れたい。



▲魅力の発信を



黒田英世 議員

### 定住人口

増加策の強化を図れ

実施可能な制度を創設

黒田議員

今後も単独行政を可能とするには、交通アクセスや金沢市に隣接する地の利を生かし、町の活性化に実効性のある定住人口増加促進策を充実させるべきである。

転入者への住宅取得費補助制度のさらなる充実、公共料金の軽減や補助に加え、税制面での優遇措置など、住みたいと思う津幡町を実現せよ。

矢田町長

県内自治体の多くで人口が減少し、各市町が定住人口促進助成を行っている現状では、地理的な条件のみで転入者を獲得することは困難と思われる。

健全な財政状況を維持しながら実施可能な定住促進助成制度を創設したい。



### 新駅

黒田議員



▲ここに駅があれば

### 倶利伽羅駅と津幡駅間に建設を

関係機関と検討

北陸新幹線開業に伴い、北陸本線が第3セクター化されるのを契機に倶利伽羅駅と津幡駅の間に新駅の建設を提案する。新駅の建設は当該地域の活性化と新駅周辺の施設の利便性の向上とともに、宅地開発など定住人口増加の一助にもなる。関係機関に強く要望せよ。

矢田町長

新駅建設は地元からの要望もあり、倶利伽羅、運動公園、歴史国道、西之坊鳳凰殿、構想中の農業公園など、町内有数の観光資源の最寄り駅として、来町者の利活用が見込める。

新駅設置の調査では、3億円以上が必要と試算された。定住促進にもつながるため、関係機関と検討していく。

### その他の質問

Q 解体撤去経費の助成などを盛り込んだ空き家解消条例を制定せよ。

A 所有者の特定や解体費用の徴収など課題も多く、現時点では困難である。

Q 農業用ため池の耐震性調査に取り組み。A 県が主体となり、平成25、26年度に調査する。

# いっばん質問

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



河上孝夫 議員

### 温水プール

河上議員

### 今後の予定を示せ

充実した施設に

プールを基本としたマシニング、エクササイズができるスタジオ、ランニングコース、風呂などを備えた複合的な施設にする考えはあるか。

また、それだけの利用者数、駐車台数を見込んでいるのか。基本構想プロジェクトの中に実績のある運営会社の意見を求めよ。

矢田町長

現段階において施設の詳細は未定であるが、すべての町民が健康増進のために利用できる充実した施設を目指している。また、必要に応じて運営会社のノウハウも取り入れながら町に適した温水プールにしたい。

### 救急搬送

河上議員

### 医療機関の

受け入れ状況は

体制は万全である

本年、埼玉県で25医療機関から受け入れを断られ、患者が死亡した事例があった。当町では受け入れ拒否は何回あったか。医療機関との連携はどのようになっているか。

その場合の対応は、受け入れ救急病院は何か。箇所あるか。消防と医療機関との連携はどのようになっているか。

西田消防長

昨年の救急出動件数は988件で2年前と比べ100件増加している。受け入れ拒否は119件で、そのうち1回の出動で最も多く断られたのは3か所であり、過去3年間では6か所が最大であった。

救急指定病院は町内に1か所、近隣市町には23か所あり、搬送に時間を要することはなく、最終的には石川県立中央病院が受け入れることになっている。

### その他の質問

Q 特別養護老人ホームの待機者解消に向けての取り組みは。A 待機者は109人である。介護老人保健施設40床、特別養護老人ホーム30床の増床が計画されている。



塩谷道子 議員

## 国保税

### 税額を引き下げよ

困難である

塩谷議員

町民が安心して医療機関にかかれるよう、短期被保険者証の留め置きはしていないか。現在の国保税は高すぎ、一般会計法定外繰り入れを行い、国保税を引き下げよ。

板坂町民福祉部長

当町では短期被保険者証の留め置きはせず送付している。

平成24年度国民健康保険特別会計の決算は単年度赤字を見込んでおり、25年度も保険給付費の増加が予想される。赤字相対以上を毎年一般会計から繰り入れての税率の引き下げは困難である。

※短期被保険者証

国民健康保険料(税)を滞納した場合に、通常の保険証のかわりに交付される有効期限が数か月単位に区切られた被保険者証のこと。

※法定外繰り入れ

法律で定められた額を超えて一般会計から特別会計にお金を繰り入れること。



## 医療費

### 子ども医療費無料化を

町独自では実施しない

塩谷議員

県議会で採択された子どもの医療費窓口無料化の請願を知事が実施しないことは許せない。引き続き県に対し無料化の実施を要望せよ。町は子ども医療費の通院に係る助成対象を中学校修了前までに拡大したが、県が実施しなくても町独自で1000円の自己負担を廃止し、医療費の無料化に取り組み。

矢田町長

県に対しては請願の実施を今後も要望していく。子ども医療費の助成対象は年々拡大している。町独自で自己負担を廃止することは考えていない。

その他の質問

Q 町長の憲法認識を問う。

A 現憲法の平和主義は世界に誇れるもので、後世に引き継いでいくべきと考えます。



▲気軽に役場窓口へ

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



中村一子 議員

## 子宮頸がん

### 副作用などの情報提供を

機会を促して説明している

中村議員

国の指示のもと女子中学生などに子宮頸がんワクチンの接種を推奨している。しかし、重篤な症例も含め副作用の報告が増加している。行政の責務として、副反応例や効果・効用など正確な情報を保護者に伝えるべきではないか。

矢田町長

町での接種状況や対応を問う。また、町外医療機関での子宮頸がん検診を補助対象にせよ。

早川教育長

ワクチンを接種するか否かは各家庭の判断によると考えており、接種の有無やその理由については確認していない。副作用や効果・効用については、身体測定などの機会を捉えて説明し、保護者と話し合うよう指導している。

## 庄能瀬線

### 建設工事の打ち切りを

町にとって重要な道路である

中村議員

町道庄能瀬線は当初計画では本年度で完了する予定だが、着工から14年経過した現在、まだ42%しか進んでいない。また、当初予定していた総事業費に近い額が投入されている。

完成までの総事業費と完成時期を示せ。また、県の事業である河北縦断道路が加茂ジャンクションまで開通すれば、本工事を継続する意義はなくなるのではないか。

矢田町長

当該工事にかかる費用は平成25年度予算も含めると12億4000万円である。そのうち一般財源負担額は6億4000万円である。完成は平成35年度で、総事業費は22億円を見込んでいる。

この道路は、町にとって重要な道路であると認識しており、今後の事業進捗については社会情勢の変化などを考慮し、慎重に見極めたい。

その他の質問

Q 空き家バンク構想を示せ。

A 7月実施に向け準備をしている。

Q ミニポートピア津幡の環境委員会の会議録を町HPで公開せよ。

A みどり市で作成されるものである。



▲今後の進み具合は？



津幡町HP携帯版

# みんなで楽しくやってみよう!!

## サークル紹介第15回

アイドルダンスグループ

### 「プティ・エンジェル」

津幡のちっちゃな天使たち

代表 小塚 真紀子



るアイドルの曲を  
楽しく踊っていま  
す♪

指導は、フリー  
アナウンサーの二  
木あつ子先生。県  
内外のダンススク  
ールで指導されて  
いるパワフルで楽  
しい先生です。町  
内外のいろんなイ  
ベントに出没して  
いますので、見か  
けたらちよっと足  
を止めて一緒に楽  
しんでください  
ね!

ダンスが大好きな女の子たち23名が、毎週木曜日に条南コミュニティで活動しています。

小学校3年生までの「キッズ」と、小学校4年生から6年生までの「ジュニア」に分かれて、AKB48、きゃりーぱみゅぱみゅ、少女時代などなど、みんなも知っています。

ことしは、8月の八朔まつりにも出場予定☆キユートな衣装と元気な笑顔で会場を盛り上げたいと思っています。

私も踊ってみたいなあという女の子たち、一緒に踊りませんか? 新規メンバー大募集中です!

## ディスカバー つばた④

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

### わん ～ 椀かせの穴 (谷内) ～



▲この先に椀かせの穴

その昔、村人がお祭りや結婚式などでご膳やお椀が必要なときに、前の日の夕方にこの穴をお願いしておくと、次の日必ず穴の前に出していました。

あるとき悪い人がいて、ご膳やお椀を約束どおり返さなかったため、その後、誰が頼んでも貸してもらえなくなりました。

## 表紙の題字は

刈安小学校6年

泉野 雅斗さんの作品です。

ぼくの学校は、く  
りから古戦場の近  
くにあり、史跡の  
多いところだ。  
緑も多く、地域の  
方々はとてもやさ  
しい。



## 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
  - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
  - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

## あとがき

今回から新メンバーによる編集作業となりましたが、前任者の協力を得て校了にこぎつけた感があります。9月会議からは名実共に新メンバーでの編集となりますが、先輩諸氏が築き上げたレベルを下げることはなく、より高みを目指して全員一致協力して頑張る所存であります。よろしくお祈りします。

(黒田)

編集委員長

副委員長

黒田 英世  
酒井 義光  
八十嶋 孝司  
荒井 克  
森山 時夫  
塩谷 道子